

アンケートは下図に示す、用紙を用いた卓上アンケートとして実施しました。

図 参-6. 鐘ヶ淵駅周辺地区の課題（卓上アンケート①）

鐘ヶ淵駅周辺地区の課題（卓上アンケート①）

■アンケートの概要・目的

パネルにて、鐘ヶ淵駅周辺地区の歴史や背景、まちづくりが抱える課題や現在進められている取組についてご紹介しました。ご紹介した通り、鉄道立体化の「事業候補区間」へ位置付けられたことや、まちづくり計画改定の検討など、地区内で様々な取組が進められており、今後、鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくりが加速していきます。

そこで本アンケートでは、鐘ヶ淵駅周辺地区が抱える課題の中でも、住民の皆様が優先的に取り組んでほしいと考えている項目を把握し、今後まちづくりを進める上での検討材料とすること目的として実施いたします。

■回答方法

パネルでご紹介した地区の課題である「交通に関する課題」「まちづくりに関する課題」「防災に関する課題」「まちの声」**4つそれぞれに対し、最も解決してほしい課題には“赤シール”、2番目に解決してほしい課題には“青シール”、3番目に解決してほしい課題には“緑シール”を張ってください。**

■交通に関する課題 1 番目 ● 赤シール 2 番目 ● 青シール 3 番目 ● 緑シール ※白枠内にシールを貼ってください。

【踏切】

①開かずの踏切の存在 ②踏切を中心にした6差路交差点の存在
(交通渋滞・歩行者との錯綜)



鐘ヶ淵駅付近の踏切



6 差路交差点の航空写真
(出典：GoogleMaps)

【鐘ヶ淵通り(補助第120号)】

③道路拡幅整備 ④歩車分離が未整備の道路における歩行安全性の低下



鐘ヶ淵通り
(拡幅未整備区間)



歩車分離が未整備の道路

【交通結節機能】

⑤バスやタクシーなどへの乗換利便性の低下 ⑥駅周辺における放置自転車



乗換機能がない駅前広場



自転車によって歩行者の通行が妨げられている

【交通体系】

⑦バリアフリーに配慮した道路整備 ⑧緊急車両が円滑に目的地に到達するまでの道路の未整備



連続性のない点字ブロック



緊急車両が通行不能な道路

■まちづくりに関する課題 1 番目 ● 赤シール 2 番目 ● 青シール 3 番目 ● 緑シール ※白枠内にシールを貼ってください。

【駅周辺】

①東武伊勢崎線による市街地の分断 ②駅周辺の生活サービス機能の不足
(医療、商業、福祉)



地区内の行き止まり道路



駅周辺の店舗等

③駅周辺の低未利用地の存在 ④交通渋滞や交通錯綜による商店街の商業・買物環境の低下



駅前駐輪場・駐車場



鐘ヶ淵通り商店街

【鐘ヶ淵通り沿道】

⑤鐘ヶ淵通り(補助第120号)の整備に伴うまちづくり



拡幅整備後の鐘ヶ淵通り

【住宅地】

⑥住居の共存に配慮したまちづくり ⑦狭小敷地及び老朽木造住宅による災害に脆弱な市街地



住宅地内にある工業施設



木造住宅が密集している住宅地

【まちづくり】

⑧若年世帯、ファミリー層の減少 ⑨高齢化の進行



地区の年齢別人口構成

図 参-7. 鐘ヶ淵駅周辺地区の課題（卓上アンケート②）

鐘ヶ淵駅周辺地区の課題（卓上アンケート②）

■防災に関する課題 1番目 ● 赤シール 2番目 ● 青シール 3番目 ● 緑シール ※白枠内にシールを貼ってください。

【困難な消防活動】

①緊急車両が通行する道路の未整備



緊急車両が通行不能な道路

②消防活動困難区域※1の存在



消防活動困難区域(图中赤色)

③道路に接していない敷地が多い



駅周辺の航空写真
(出典：Googlemap)

<注釈解説>

※1:消防活動困難区域とは
幅員6m以上の道路に面する防火水槽・受水槽プールから140mを超えて離れた区域（消防ホースが届かないとされる区域）

※2:延焼遮断帯とは
市街地火災の延焼を阻止する機能を果たす道路、河川、鉄道、公園等の都市施設及びこれらと接する耐火建築物により構成される帯状の不燃空間のこと。



防災生活圏と延焼遮断帯のイメージ図

【密集した市街地】

④老朽木造建築物が多い



木造住宅が密集している住宅地

⑤多数の4m未満の道路、行き止まり道路の存在



地区内の幅員の狭い道路

⑥延焼遮断帯※2の未形成



鐘ヶ淵通り(未整備区間)

【避難場所】

⑦避難場所の不足



地区内に避難場所がない

⑧公園・オープンスペースの不足



地区内の小規模公園

⑨鉄道により地区が東西に分断（避難時に支障）



反対側に移動することができない

【水害対策】

⑩河川氾濫時における防災・減災



荒川堤防

■まちの声(地元ヒアリング結果) 1番目 ● 赤シール 2番目 ● 青シール 3番目 ● 緑シール ※白枠内にシールを貼ってください。

【商業】

①商業が衰退している
②商業施設の数が少なく買い物が不便



駅周辺に商業施設が少ない(赤が商業用地)
出典：鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画より

③飲食店や喫茶店等のコミュニティの場が不足している



駅周辺の道路沿い

④鐘ヶ淵通り拡幅後の沿道の利用がされていない



道路拡幅整備後、沿道の有効利用がなされていない。

【公共施設】

⑤地域のコミュニティ施設が不足している



墨田児童会館

⑥子どもが遊ぶことのできるような中規模の公園が不足している。



つばき公園

【防災】

⑩防災対策の推進



墨田区の防災訓練

⑪危機管理体制の構築



墨田区防災パンフレット

【交通】

⑦地区内の道路が狭い



地区内の幅の狭い道路

⑧東西、南北方向に通行できる道路がない



分断されている行き止まり道路

パネル展へのご参加・卓上アンケートのご協力
ありがとうございました！！

今後も、まちづくり計画改定の検討段階に応じて、再度住民の皆様にもご意見を伺う機会もでてきますので、その際はご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



ひと、つながる 墨田区

73

(2) 鐘ヶ淵地区まちづくりニュース第40号の配布

ニュースの内容は次のとおりです。

第40号 第1面 令和5年(2023年)6月

鐘ヶ淵地区まちづくりニュース

発行：鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会 / 事務局：墨田区都市計画部密集市街地整備推進課 ☎ 03-5608-6260

◆◆ 第44回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会が開催されました ◆◆

令和5年5月12日(金)に第44回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会が開催されました。当日は、鐘ヶ淵地区まちづくりの活動経過と今後の取組み、補助第120号線(鐘ヶ淵通り)拡幅事業の進捗、踏切安全対策、懇談会委員変更の説明がありました。

主な内容は以下のとおりです。

まちづくり懇談会当日の様子

1 鐘ヶ淵地区まちづくりに係る活動経過と今後の取組みについて(墨田区報告)

◆鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくりパネル展の開催

住民の皆さまからまちの現状に対するご意見を頂くため、令和5年1月20日から23日の4日間にわたりパネル展を開催しました。合計179名と多くの方にご参加いただきました。パネル展で実施したアンケートでは「踏切解消」と「水害対策」が鐘ヶ淵駅周辺地区における重要課題であると考えている方が多いという結果になりました。また、「商業の衰退」や「生活サービス機能不足」に対する意見も多くありました。

引き続き、密集市街地の課題である「細街路の整備」や「老朽木造建築物の解消」と共に、これらの課題をいち早く解消するため、今後も住民の皆さまのご意見をお聞きしながら検討を進めていきます。

交通

鉄道駅周辺の状況	114	27	141
公共交通機関の存在	79	12	91
徒歩が楽な道の状況	11	15	26
徒歩が楽な道の長さ	6	12	18
徒歩が楽な道の幅	6	6	12
歩道の状況	10	10	20
歩道の幅	28	21	49

まちづくり

まちづくりの進捗状況	14	4	18
まちづくりの進捗状況	14	4	18
まちづくりの進捗状況	14	4	18
まちづくりの進捗状況	14	4	18
まちづくりの進捗状況	14	4	18

防災

災害発生時の対応	6	6	12
災害発生時の対応	6	6	12
災害発生時の対応	6	6	12
災害発生時の対応	6	6	12
災害発生時の対応	6	6	12

まちの声

まちの声	46	30	76
まちの声	46	30	76
まちの声	46	30	76
まちの声	46	30	76
まちの声	46	30	76

卓上アンケートの結果

【「まちの将来像」の確立を目指した協議の場の設定】

まちづくりの推進に向けて、今後さらに幅広くご意見を住民の皆さまから頂くために新しい協議の場を設けたいと考えていることをまちづくり懇談会で報告しました。詳細が決まりましたら、区のHPなどで改めてお知らせします。

「まちの将来像」の確立により進めていきます!

●●●● 墨田区 議会 定章!

【今後の取組み】

【鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の改定】

平成28年に策定した「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」について、近年の環境の変化を捉え、住民の皆さまからいただいたご意見やまちの課題の効果的な解決を目指し、令和6年度内に改定を行います。

【交通ネットワーク構想の策定】

鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の改定に合わせて、駅周辺の歩行者、自転車、自動車に関する交通ネットワークのあり方や駅前広場の整備方針等について整理した構想を策定します。

【参考】交通ネットワーク構想(板橋区大塚駅)

第40号 第2面

【優先整備路線8号線の整備】

墨田五丁目16番にある都市整備用地東側の優先整備路線8号線のうち、防災まちづくり・地域魅力向上ゾーン(緑色点線部分)の拡幅については、令和5年度の整備を予定しています。

防災・スポーツ・教育ゾーン(青色点線部分)についても早期に拡幅工事を行えるよう東京都と引き続き調整を図っていきます。

都市整備用地概要図

【鐘ヶ淵駅付近を鉄道立体化の事業候補区間へ位置付け】

令和4年10月発行のまちづくりニュース臨時号でもお伝えしましたが、これまで住民の皆さまと共に「鉄道立体化の早期実現に向けた要望書」を東京都に提出するなど、取組みをしてきた成果として、東京都は令和4年9月の都議会において鐘ヶ淵駅付近を鉄道立体化の事業候補区間に位置付けたことを表明しました。

今後、鉄道立体化に向けた調査と検討に着手することとなります。

連続立体交差事業の流れ(抜粋)

※事業の内容や規模によって、上記の流れに加え 環境影響評価の手続きが必要となります。

3 補助第120号線(鐘ヶ淵通り)拡幅事業の進捗状況・踏切安全対策について(東京都報告)

鐘ヶ淵通りの1期区間は用地取得が完了しており、鋭意工事を進めてまいります。また、2期区間については、引き続き用地取得を進めるとともに、一部工事に着手いたします。令和5年度の施工予定は図1のとおりです。

鐘ヶ淵駅前踏切安全対策については、車道の線形改良と道路の付替えを行うことにより歩行空間を広げるとともに、カラー舗装を施し、歩行者の安全を確保できるようにしていきます。図2の踏切安全対策ハース図をご参照ください。

図1:5年後施工予定箇所

図2:踏切安全対策ハース図

4 当日の主なやりとり(要旨)

質問	回答
鐘ヶ淵通りの拡幅事業はいつ完了するのか	1期区間の整備完了には相当期間を要すると想定しています。2期区間については引き続き用地取得を進めていきます。(東京都)
踏切自体の幅は広げないのか	早期に安全確保を図る必要があることから、踏切自体の拡幅はせず、道路の付け替えや踏切内の歩行空間を広げる等の当面の安全対策を実施してまいります。(東京都)

鐘ヶ淵地区まちづくりニュースは 墨田区役所公式ホームページに掲載しています!!

鐘ヶ淵地区まちづくり で 検索 できます!

(3) 小学生アンケート調査結果(令和5年7月)

隅田小学校・梅若小学校に通う小学4～6年生を対象として実施した、本地区に対する評価と望む将来のまちについて調査しました。結果は次の通りです。

図 参-8. 住んでいるまちの評価

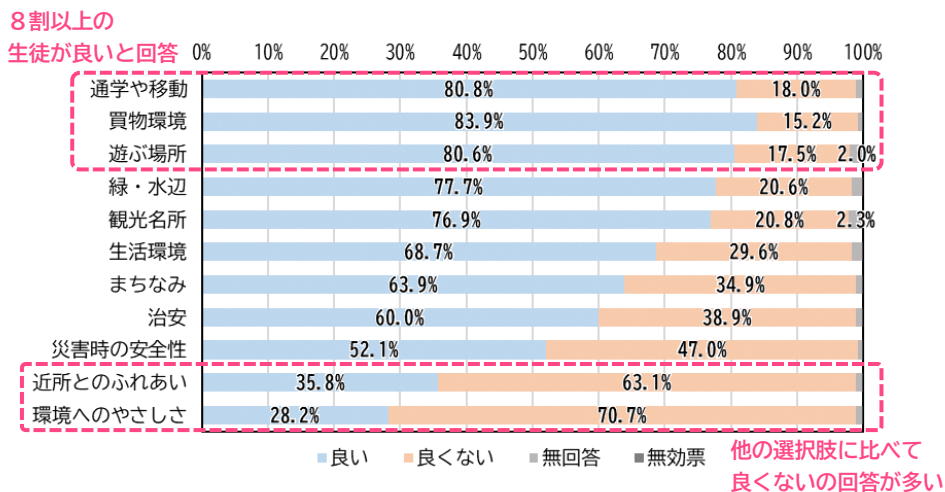


図 参-9. 特に良いところ・良くなってほしいところ

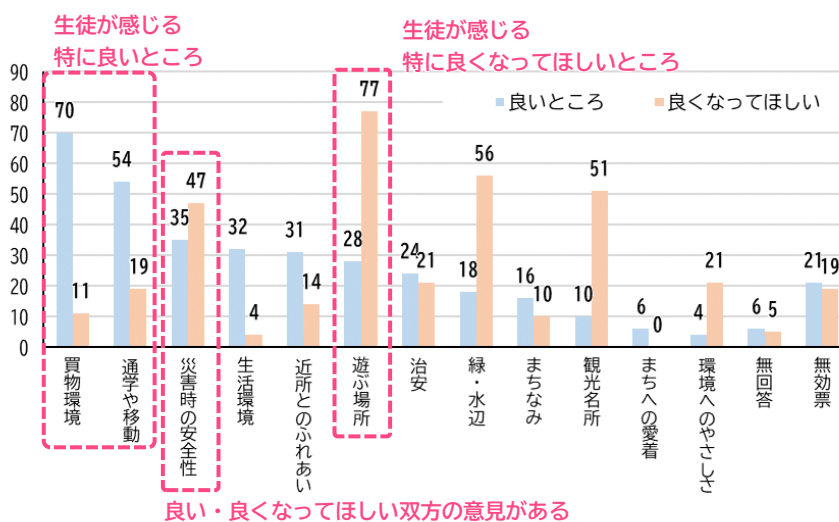
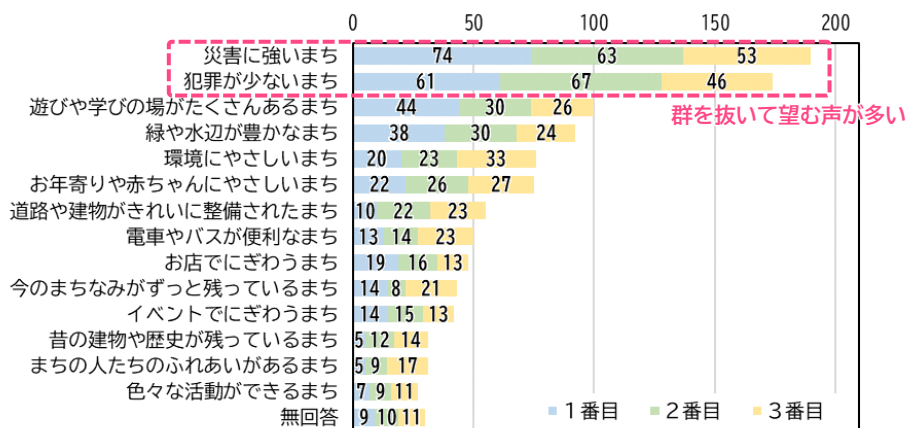


図 参-10. 望む将来のまちの姿



配布したアンケート調査票は次のとおりです。

図 参-11. 事前案内

来週^{7月中旬}に学校で かねがふちえきしゅうへんちく 鐘ヶ淵駅周辺地区の まちづくりアンケートを実施します

趣旨（保護者の皆様へ）

墨田区では、鐘ヶ淵駅付近が鉄道立体化の事業候補区間への位置付けされたことを受け、まちづくりの一層の推進を目指し、令和6年度中に「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」の改定を予定しております。

この計画が長期的なまちづくりの方針となることから、幅広い世代の方からご意見をいただいたうえで「まちの将来像」をまとめ、計画に反映したいと考えております。つきましては、地区内の小学校に通う児童のみなさまから、将来のまちについてのご意見をいただきたく、アンケートを実施いたします。

このアンケートでいただいたご意見は、今後開催を予定しております全世代を対象としたワークショップやまちづくりの検討に活用させていただきます。ワークショップは、本アンケートの結果報告と併せて9月頃にご案内を予定しております。

対象

隅田小学校 4・5・6年生

梅若小学校 4・5・6年生

実施方法

7月中旬に各学校で、アンケート用紙に回答いただきます。（その場で回収します。）

アンケートの項目

裏面に記載しておりますので、事前にご家庭でお子様と一緒に考えていただけますと幸いです。

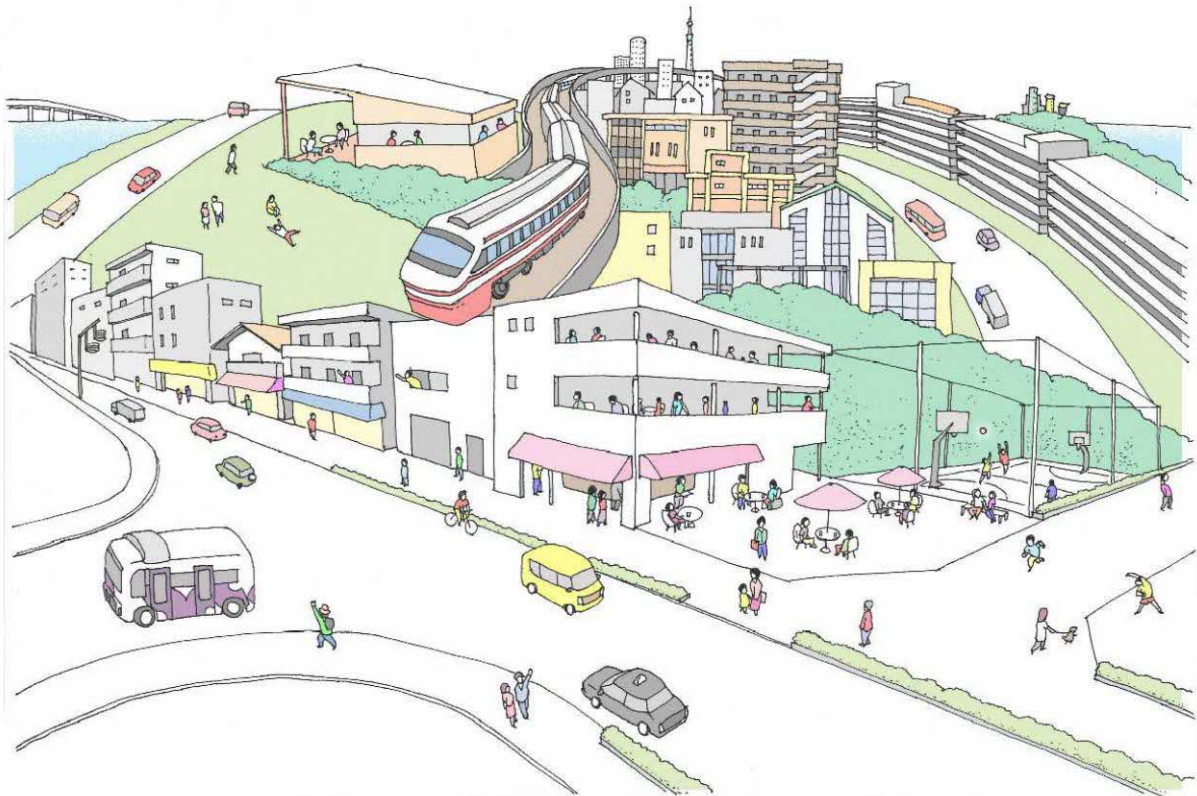


図 参-12.小学生アンケート調査票①

かねがふちえきしゅうへんちく
鐘ヶ淵駅周辺地区の

まちづくりアンケート

かねがふちえき まわ いげん
～鐘ヶ淵駅の周りのまちづくりについてみなさんの意見をお聞かせください～

みなさんこんにちは！

このアンケートは、墨田区の未来を担っていく小学生のみなさんに、住んでいるまちが将来どのようになってほしいかを教えてもらい、これからのまちづくりに活かすために行います。

ぜひ、みなさんの自由なご意見をお聞かせください。

令和5年7月
墨田区役所

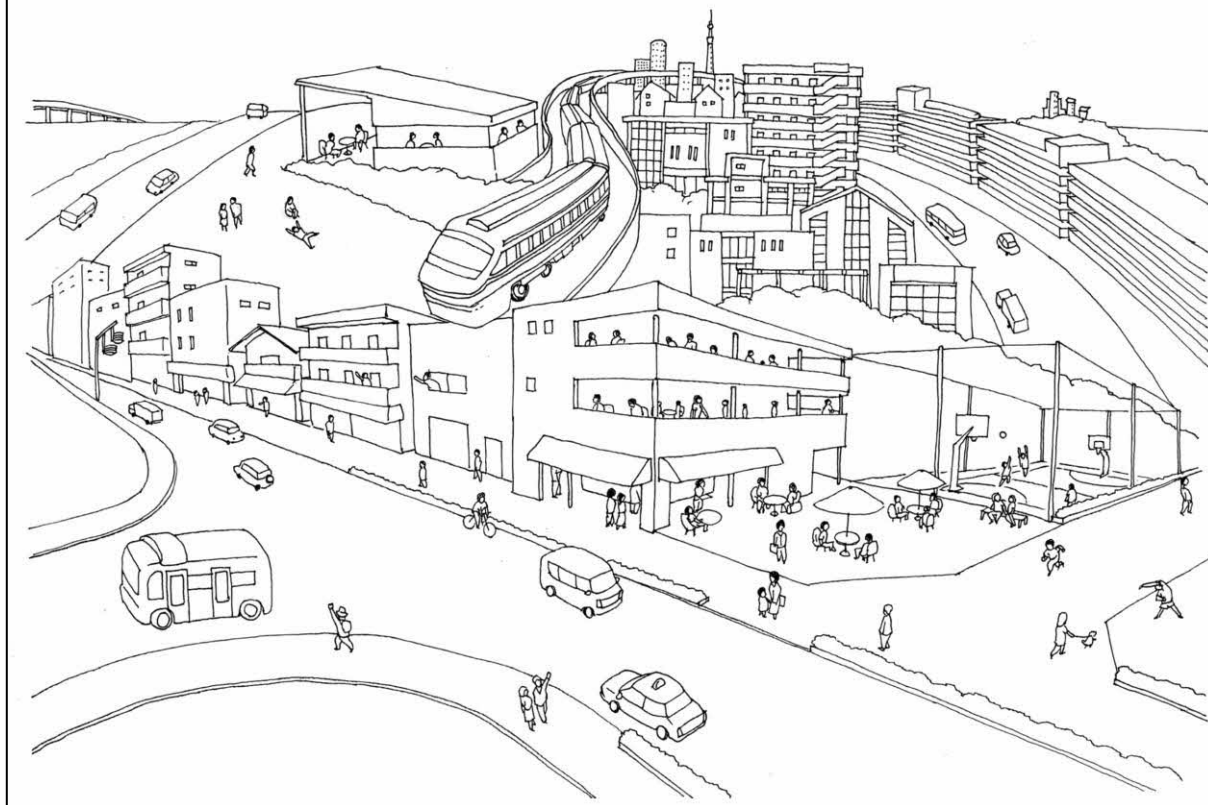


図 参-13.小学生アンケート調査票②

問1 あなたの学年を下の欄の番号の中から一つ選んで○をつけてください。

① 小学4年生 ② 小学5年生 ③ 小学6年生

問2 あなたの性別を下の欄の番号の中から一つ選んで○をつけてください。

① おとこ ② おんな ③ 答えられない

問3 あなたの住んでいるまちを下の欄の()の中に町名と何丁目まで書いてください。

墨田区 () 丁目

例：墨田区 (墨田 四) 丁目、墨田区 (堤通 二) 丁目

問4 あなたの住んでいるまちについてどう思うか

下の欄の番号それぞれの【 】の中のどちらかの言葉を選んで○をつけてください。

① 通学や移動が【しやすい・しづらい】	⑦ まちなみが【良い・良くない】
② 買い物が【しやすい・しづらい】	⑧ 治安が【良い・良くない】
③ 遊ぶ場所が【多い・少ない】	⑨ 災害時の安全性が【高い・低い】
④ 緑や水辺が【多い・少ない】	⑩ 近所とのふれあいが【多い・少ない】
⑤ 観光名所が【多い・少ない】	⑪ 環境に対するやさしさが【ある・ない】
⑥ 生活環境が【良い・良くない】	⑫ まちに愛着や思い入れが【ある・ない】

問5 あなたの住んでいるまちで「良いところ」と「良くなってほしいところ」をそれぞれ一つずつ問4の番号の中から選んで下の欄の()の中に書いてください。

良いところ () 番

良くなってほしいところ () 番

問6 あなたの住んでいるまちの好きな場所やものと好きな理由を下の欄の()の中に自由に書いてください。

好きな場所やもの ()

それが好きな理由 ()

図 参-14.小学生アンケート調査票③

問7 ^{しょうらい} 将来あなたの住んでいるまちがどんなまちになってほしいか

下の欄の番号の中から1位から3位まで選んで右下の()の中に入れてください。

<p>① お店でにぎわうまち</p> 	<p>② イベントでにぎわうまち</p> 	<p>③ ^{みどり みすべ} 緑や水辺が豊かなまち</p> 
<p>④ ^{かんきょう} 環境にやさしいまち</p> 	<p>⑤ 遊びや学びの場がたくさんあるまち</p> 	<p>⑥ ^{いろいろ かつどう} 色々な活動ができるまち</p> 
<p>⑦ ^{としよ} お年寄りや赤ちゃんにやさしいまち</p> 	<p>⑧ まちの人たちのふれあいがあるまち</p> 	<p>⑨ ^{ほんざい} 犯罪が少ないまち</p> 
<p>⑩ ^{さいがい} 災害に強いまち</p> 	<p>⑪ 電車やバスが ^{べんり} 便利なまち</p> 	<p>⑫ ^{どうろ たてもの} 道路や建物が ^{せいび} きれいに整備されたまち</p> 
<p>⑬ ^{むかし たてもの れきし} 昔の建物や歴史が ^{のこ} 残っているまち</p> 	<p>⑭ 今のまちなみが ^{のこ} ずっと残っているまち</p> 	<p>^{しょうらい} 将来なっしてほしいまち</p> <p>1位 () 番</p> <p>2位 () 番</p> <p>3位 () 番</p>

次のページへ！

図 参-15.小学生アンケート調査票④

問8 将来まちが問7で選んだようなまちになったとき、あなたは住みたいと思うか
下の欄の番号の中から一つ選んで○をつけてください。

① 住みたい ② 住みたくない ③ わからない

問9 あなたが大人になったとき、このまちをどのように変えたいと思いますか。
どんなことでもいいので、下の欄の中にアイデアや意見など思いついたことを
文字や絵を使って自由に教えてください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました！

(4)住民ワークショップ結果(令和5年9月・11月)

まちづくり計画改定において本地区の将来像を検討するため、鐘ヶ淵の将来像を考えるワークショップ「考えよう！カネガフューチャー」を開催しました。意見交換は3つのグループに分かれ、意見を出し合っって模造紙にまとめる形で行いました。

■第1回 地域の『理想の暮らし』を考えよう

第1回ワークショップでは、まちづくり分野を「にぎわい/かつどう/こうつう/あんぜん/うるおい/らしさ」の6つに分類し、各分野における鐘ヶ淵の課題や魅力について意見交換を行いました。また、それら意見をもとに鐘ヶ淵での理想の暮らしについて考え、共有しました。

にぎわい

- ・買い物する場所が限られる
- ・立ち寄りたくなる個人店が消えてきた
- ・高学年の遊び場がない
- ・子ども、高齢者に対しての施設、遊び場があるとよい

かつどう

- ・地域のイベントを開催してほしい
- ・町内活動は活発だが、参加者が限定されている
- ・都内では暮らしやすい住環境
- ・大学生を引き込みたい

こうつう

- ・踏切を広く安全に（高架化）
- ・鉄道会社等との協力体制強化
- ・歩行者だけでも安全に通れる道にしてほしい
- ・他の区に行く場合、電車の利便性が以前よりとても良い

あんぜん

- ・避難路を道路に表示するとよい
- ・0m地帯が不安。防災対策が必要
- ・町内会と警察によって、治安は守られている

うるおい

- ・公園での遊び方が限定されている
- ・まちの中に子どもが遊んでいない
- ・鐘ヶ淵通りの街路樹に期待したい
- ・フラッと遊べる場がほしい（河川敷とか）

らしさ

- ・墨田区で一番古い町。寺や神社、教会それぞれに歴史がある
- ・歴史に触れる機会はない
- ・シンボルとなる場所や、拠りどころがない



第2回 『将来像』につながるキャッチフレーズを見つけましょう

第2回ワークショップでは、グループ毎に将来像につながるキャッチフレーズを出し合いました。共通していた点として、鐘ヶ淵は住みやすい場所であり住み続けていきたい、その上で、買い物の便利さ、体を動かせる場や交流空間、地区の個性を伸ばすことで魅力を高めていくとの考え方がご意見として挙げられました。

1班



～ねがい～

鐘ヶ淵は暮らしやすいまちであることから、“スローライフ”という言葉の軸に、暮らしに必要な便利さや安全のあるまちを目指すとともに、日々の暮らしが楽しくなる商店やイベント、公園などを整備することで、まわりに自慢できる鐘ヶ淵になってほしい。

みんなが明るくつながり、安心して、すみよい鐘ヶ淵

2班

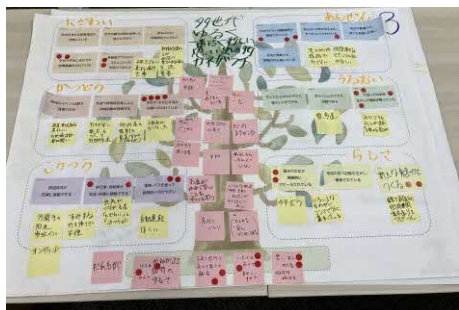


～ねがい～

鐘ヶ淵の魅力は暮らしやすい下町であるという点であり、ここを活かし、伸ばしながらにぎわいづくり・交通の安全、快適性確保、災害対策を進めたい。また、「住み続けられる」よりも「住みたい」と感じる事が重要で、子どもや中高生の集める公園の不足、荒川河川敷の活用といった健康につながる場づくりも進めてほしい。

健康かに住みたい下町

3班



～ねがい～

鐘ヶ淵の、独特のゆるさ・のんきさを、一番古くて、かつ新しいすみだとして残したい。将来、カネガフチでよかったなと思えるような、鐘ヶ淵の歴史とこれからの鐘ヶ淵を活かしたまちづくりをしてほしい。特に子育て世代や高齢者が交流できる場や、それらを繋ぐ空間を整備してほしい。

多世代ゆるく 一番古く新しい思い出の街カネガフチ

(5) パネル展(令和6年1月)におけるアンケート調査結果

令和6年1月に開催したパネル展において、本地区で進められている取組の重要度や、具体的なまちづくりの整備の方向性について調査しました。結果は次のとおりです。

図 参-16. 地区の取組の重要度

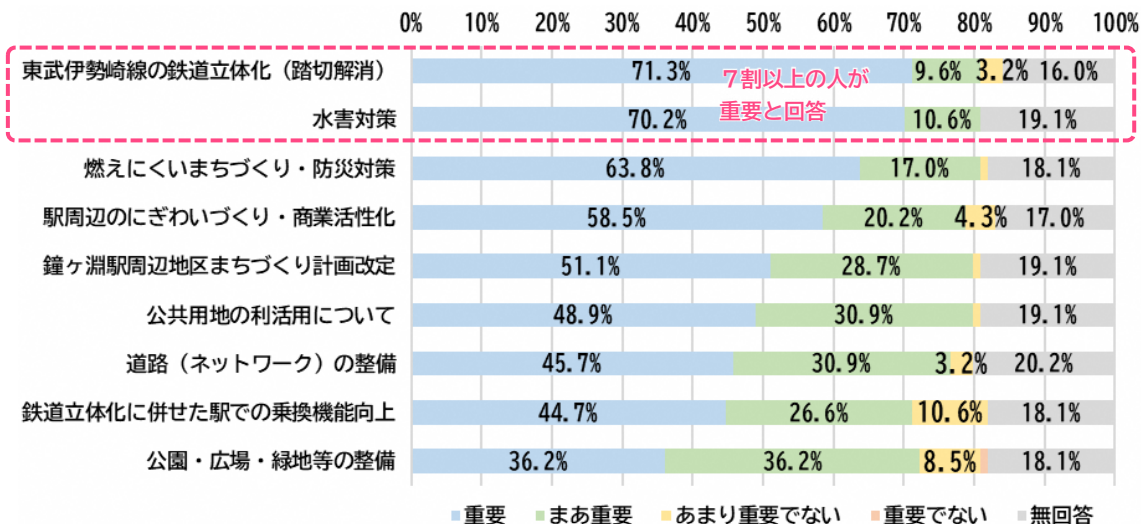
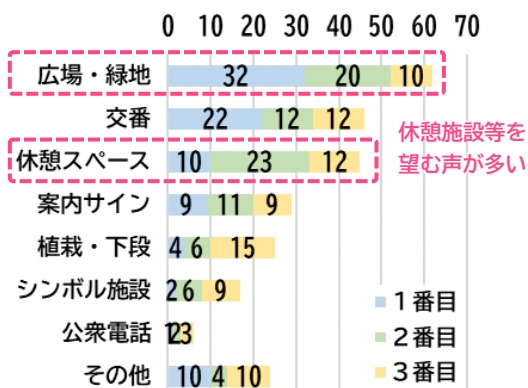


図 参-17. 駅前広場・バス路線について

○駅前広場に求める機能や施設



○あると便利な路線バスの行き

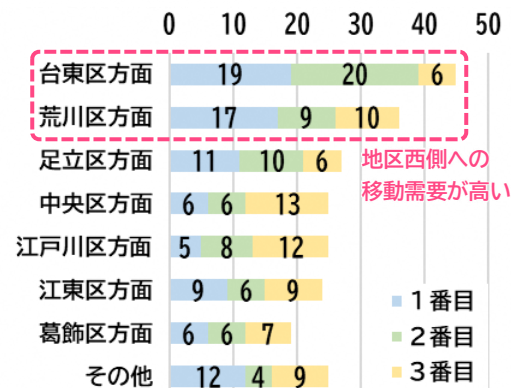
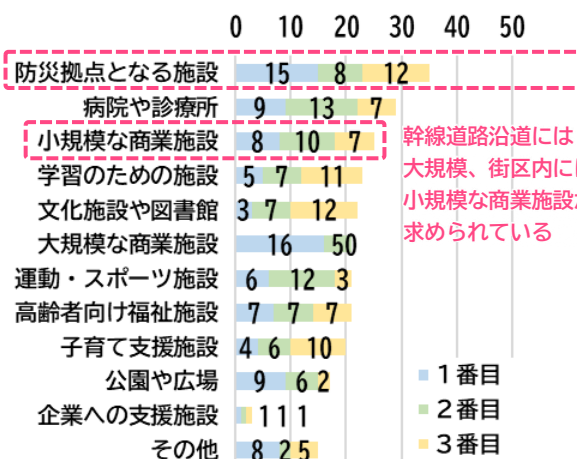
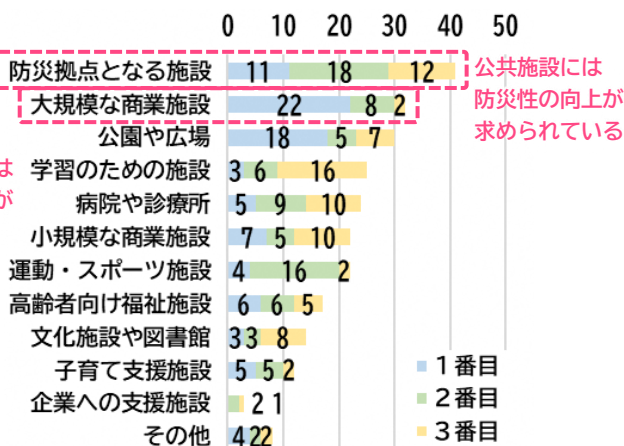


図 参-18. 公共施設の整備について

○旧隅田小学校跡地の活用方法



○都市整備用地(魅力向上ゾーン)の活用方法



(6) 鐘ヶ淵まちづくり通信(第1号発行)(令和6年10月)

地区住民に向け配布した鐘ヶ淵まちづくり通信第1号の紙面は次のとおりです。

図 参-19. 鐘ヶ淵まちづくり通信(第1号) ①



鐘ヶ淵まちづくり通信

第1号

令和6年9月発行

鐘ヶ淵地区まちづくり協議体(仮) 事務局: 墨田区(都市計画部密集市街地整備推進課)

墨田区(都市計画部密集市街地整備推進課)では、まちづくりのワークショップやパネル展等を行う中で地域の方から「より活発なまちづくりの意見交換の場」を求める声をいただいています。

墨田区としても、地域の長年の願いである鉄道立体化を少しでも早期に実現するとともに、さらに住みよいまちを目指すため、皆さまとの情報・意見の交換を行いたいと思っています。例えば・・・



建物を建てる際の
ルールづくり



災害対策・
高台まちづくり



優先整備路線や
鐘ヶ淵通りの拡幅整備



鉄道立体化に伴う
駅前広場等の整備

こういった項目について、必要なルール・方針を協議したり、進捗を共有したりしたいと思います。

そのために!

まちづくり協議体 (仮) をつくりたいと思います!

意見交換及び対話のための

…とはいっても



情報がよく整理できていないまま
いきなり話し合いは難しいという
方もいらっしゃると思います。

そこで!



まずは、各町会にお配りする
このまちづくり通信を介して
情報と意見の交換を行います。

ゆくゆくは…



具体的な議題があがってきた
場合には対面での意見交換も
行いたいと思います。

協議体の名称のご提案お待ちしております! → 鐘ヶ淵地区まちづくり協議体(仮)

平成12年から行っております「鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会」及び「鐘ヶ淵地区まちづくりニュース」については、この「まちづくり協議体(仮)」と並行して、今後も開催・発行していきます。

図 参-20. 鐘ヶ淵まちづくり通信（第1号）②

まずは墨田区が策定しました「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」をご紹介します

■当初のまちづくり計画は平成28年に策定されました

木造密集市街地の解消や鐘ヶ淵通りの拡幅整備等の取組みを総合的かつ一体的に進め、鐘ヶ淵駅付近の鉄道立体化を早期に実現するために、区は「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」を策定しました。

まちづくり計画（平成28年策定）





交通に関わる方針

- ・鐘ヶ淵通りの整備
- ・交通錯綜の解消 等



土地・建物利用に関わる方針

- ・木密市街地の改善
- ・適切な土地利用の誘導 等

■まちづくり計画を今年度末に改定します

策定から8年が経過したこと、令和4年9月に東武伊勢崎線の鐘ヶ淵駅付近が鉄道立体化の事業候補区間に位置付けられたことを契機として、令和7年度を当初とするおおむね10年間を見据えた内容に更新した計画として改定を行います。



■このたび改定の「考え方」をまとめました

今年度末の計画改定に向けて、改定の「考え方（概要）」をまとめ、区議会（地域産業都市委員会）にて報告しました。今後は、11月から翌年1月にかけて、区議会やパブリックコメント、パネル展などを通して、改定計画全体の案をご報告する予定です。



改定するまちづくり計画の「考え方」についてはこちらからご覧いただけます▲

まちづくり計画（今年度末改定予定）



交通に関わる方針

- ・鐘ヶ淵通りの整備
- ・交通錯綜の解消
- ・交通利便性の向上
- ・駅前広場 等



土地・建物利用に関わる方針

- ・木密市街地の改善
- ・適切な土地利用
- ・住環境の維持 等



災害対策に関わる方針

- ・水害対策
- ・高台まちづくりの検討 等

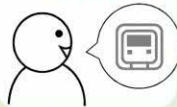
その他 **にぎわい**（生活サービス機能等）や **うるおい**（公園・広場空間等）に関わる方針 等

■改定の「考え方」についてご意見をお寄せください

地域の皆さまからのご意見をもとに、まちづくり計画改定の内容を吟味するとともに、今後「まちづくり協議体（仮）」で議論するテーマを検討します。

例えば…

駅前広場は買物にも便利な空間になってほしい。



水害が起きたときに一時的でも避難できる空間が必要。



ここにはいけどこういう項目も検討が必要では。



問合せ先

墨田区都市計画部密集市街地整備推進課
TEL : 03-5608-6260
MAIL : MISHUSUISHIN@city.sumida.lg.jp

- ▶このまちづくり通信を個別に送ってほしい
 - ▶まちづくり通信の内容で教えてほしいことがある
 - ▶まちづくりについて意見を言いたい
- などのお声をぜひ右記フォームへお寄せください。

ご意見お待ちしております



10月に第2号の発行を予定しております。9月中にお寄せいただいたご意見は、11月に発行の第3号にて紹介させていただく予定です。

(7) 鐘ヶ淵まちづくり通信(第2号発行)(令和6年11月)

地区住民に向け配布した鐘ヶ淵まちづくり通信第2号の紙面は次のとおりです。

図 参-20. 鐘ヶ淵まちづくり通信(第2号) ①



かねたろう

鐘ヶ淵まちづくり通信

第2号

令和6年10月発行


まちづくり計画改定について

鐘ヶ淵まちづくり通信の第1号でお伝えさせていただいたとおり、平成28年に策定した「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」を今年度末に改定するにあたり、まずは「考え方(概要)」をまとめ、区議会(地域産業都市委員会)にて報告しました。

地域の皆さまの声を反映させるため、計画改定の考え方に関するご意見をお願いしております。

計画改定の考え方▼





▲ 鐘ヶ淵地区の将来像実現に向けた6つの視点(計画改定の考え方より抜粋)

NEW!

まちづくり計画改定の考え方について、地域の方へ 直接ご説明 します!

■日時 第1回 10月31日(木) 19:00~
第2回 11月2日(土) 10:30~

■会場 隅田小学校 1階 視聴覚室 (両回ともに)

■内容 (1) 区からの説明
① まちづくり計画改定の考え方
② 今後の話し合いの場づくりについて

(2) みなさまからのご意見、ご質問
…まちづくり計画改定に限らず、まちづくりに関するご意見、ご質問をお聞かせください。もちろんお聴きいただくだけでも結構です。

第1回も第2回も同様の内容です



どなたでもご参加できます。
事前申し込みは必要ありませんので、直接会場へお越しください。



きてきて

86

図 参-20. 鐘ヶ淵まちづくり通信（第2号）②

まちづくり計画改定後に想定される議題 ① 駅前広場の整備

まちづくり計画の改定後は、その内容を軸として、地域の方と少しずつ具体的な話し合いを進めていきたいと考えています。

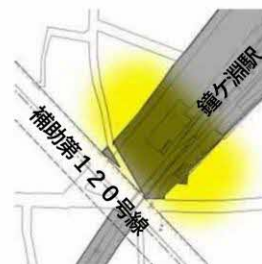
話し合いが必要な議題の例として、今回は「駅前広場の整備」を挙げます。1ページ目で紹介しました「鐘ヶ淵地区の将来像実現に向けた6つの視点」のうち『交通ネットワークを整える』に基づき、鐘ヶ淵駅における公共交通の乗換利便性や駅前空間の安全性を向上することを目指して、鉄道立体化と併せて駅前広場を整備することが想定されます。




これまでに、「(仮) 補助第120号線(鐘ヶ淵通り) 踏切分科会」(平成27年度開催)や、「鐘ヶ淵駅付近鉄道沿線勉強会」(平成30年～令和元年度開催)を通して、駅前広場のあり方について地域の方と話し合ってきました。それらの内容をもとに、まちづくり計画の各視点をふまえながら、駅前広場に必要機能等について引き続き皆さまと話し合っていきたいと考えています。

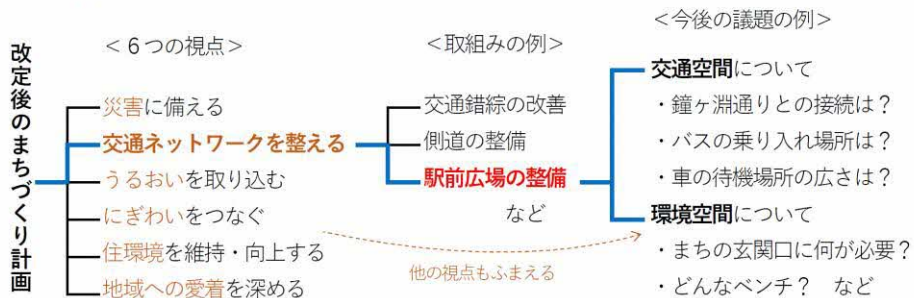
■ 「鐘ヶ淵駅付近鉄道沿線勉強会」で話し合われた駅前広場の検討エリア

乗り換えのために補助第120号線を横断する必要がなく、駅からの利便性・歩行者の安全性を確保するため、**補助第120号線の北側**で、循環バス、タクシー、一般車両の乗り入れが可能な小規模な駅前広場を基本とする。



 : 駅前広場の検討エリア
(検討エリア全てが駅前広場ではない)


■ 今後の議題のイメージ



問合せ先
 墨田区都市計画部密集市街地整備推進課
 TEL : 03-5608-6260
 MAIL : MISHUSUISHIN@city.sumida.lg.jp

▶このまちづくり通信を個別に送ってほしい
 ▶まちづくり通信の内容で教えてほしいことがある
 ▶まちづくりについて意見を言いたい
 などの声をぜひ右記フォームへお寄せください。

ご意見お待ち
 しております



11月に第3号の発行を予定しております。10月中にお寄せいただいたご意見は、12月に発行の第4号にて紹介させていただく予定です。

(8) パネル展(令和 7 年 3 月 19~22 日)

※実施後追記予定

(9) パブリックコメント(令和 7 年〇月)

※実施後追記予定

別冊

交通ネットワークの方向性

1. 交通ネットワークの方向性とは

- 交通ネットワークの方向性（以下『本計画』という。）は、鉄道立体化や鐘ヶ淵通り（補助第120号線）（以下『鐘ヶ淵通り』という。）の整備などの将来的な事業を見据え、鐘ヶ淵地区（以下『本地区』という。）の交通面の課題を解消するために、駅前広場や地区内の道路による交通ネットワークのあり方について基本的な考え方を整理したものです。
- 本計画は、「墨田区基本構想」、「墨田区基本計画」、「墨田区都市計画マスタープラン」を踏まえた「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」における「視点1 交通ネットワークを整える」の一部として策定するものです。

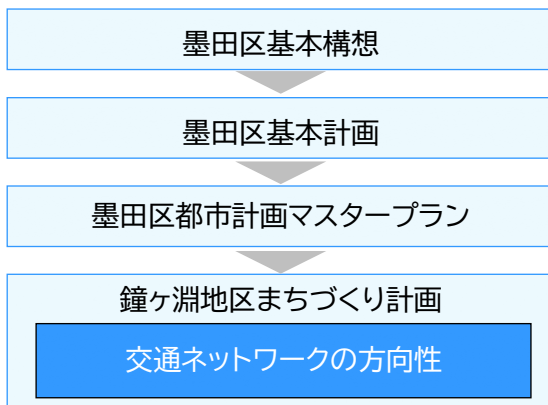


図 本計画の位置づけ



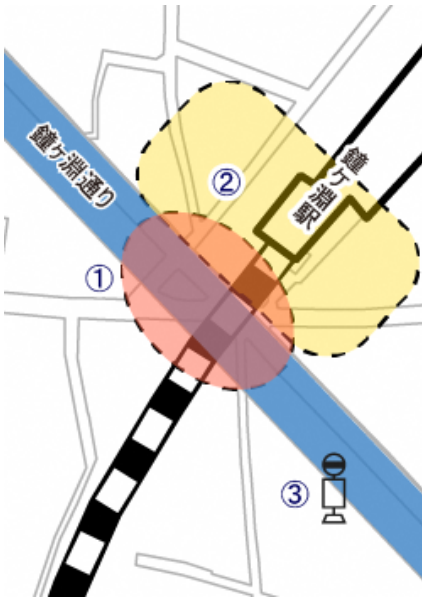
【鐘ヶ淵地区】

墨田一丁目と東向島五丁目の一部、墨田二丁目、三丁目、四丁目、五丁目の全域を含めた約 80.6ha

図 鐘ヶ淵地区の位置

- 本計画を踏まえ、関係機関との調整、具体的な整備方針の検討を実施し、都市計画決定や道路整備などを目指します。

2. 本地区における交通面の現状と見通し



〈駅周辺〉

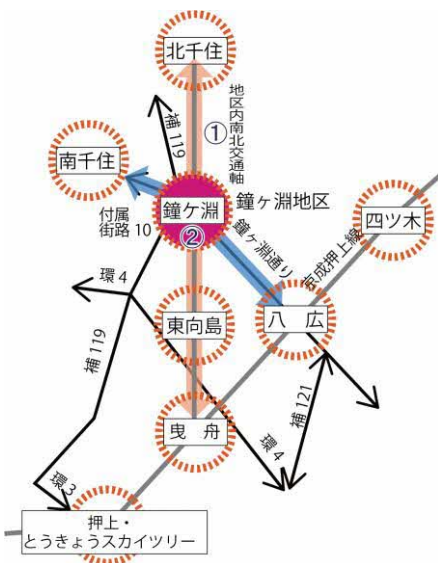
- ① 駅前の踏切を中心に、年間 400 万人を超える鉄道利用者をはじめ、自動車・自転車・歩行者交通が集中しています。
- ② 駅前は、人々の待ち合い、滞留、休憩ができる空間がないことに加え、タクシー乗降場がなく、タクシーへの乗り換えも不便な状況です。
- ③ 駅付近を通るバス路線は区内循環バスが1系統ありますが、停留所と駅が約 100m 離れたところにあるため、鉄道とバス利用の乗り換えが不便な状況です。
- ④ 駅周辺は災害時の一時的な避難場所となるような空間が不足しています。



〈地区内〉

- ① 地区内には狭隘道路が多く木造密集地域となっており、『住宅市街地総合整備事業』により燃えにくいまちづくりが進められています。
- ② 鉄道がまちを分断していることに加え、開かずの踏切があり、鉄道立体化の検討がされています。
- ③ 避難場所でもある白鬚東地区及び荒川・四ツ木橋緑地へ歩いてアクセスしづらい状況にあります。
- ④ 鐘ヶ淵通りが幅員 20m に拡幅整備中です。
- ⑤ 地区内の南北方向を結ぶ幅員の広い道路が不足しています。

〈広域〉



- ① 鐘ヶ淵通りの拡幅整備により、南千住方面及び八広方面にアクセス可能な東西ネットワークが形成されます。また、地区内に不足している南北の軸となる道路を整備することにより、北千住方面及び東向島・曳舟方面にアクセス可能なネットワークが形成され、これらを介して、さらに広域なネットワークが広がります。
- ② 鐘ヶ淵駅は、これら東西及び南北ネットワークの交差点にあるため、各拠点を結ぶ交通結節点としての役割が期待されます。

3. 本地区における交通面の課題

交通面の現状と将来の見通しを踏まえた課題

狭隘道路の解消

鐘ヶ淵通りの踏切部分における東西交通の円滑化と安全性の確保

駅前交差点の交通混雑の解消

鉄道による東西の市街地分断を改善

避難場所へのアクセス性の向上

南北を結ぶ道路の整備

駅における乗り換え利便性の向上

滞留・休憩・一時避難となる空間の形成

交通結節点としての役割（＝まちの玄関口としての機能）が必要



写真 開かずの踏切



写真 踏切における交通混雑



写真 駅前のバス停未設置



写真 滞留スペースのない駅前空間

4. 本地区における交通ネットワークの方針

○安全な交通ネットワークの形成

- 鐘ヶ淵通り、優先整備路線9号線及び10号線を整備し、東西に通行できる経路を確保します。
- 地区外周の幹線道路と鐘ヶ淵通りを骨格とし、鉄道で区切られたエリア内の交通を主要生活道路などによって幹線道路へ連絡します。
- 上記により、生活道路への通過交通の流入を抑え、幅員6m以上の道路を整備することにより、歩車の共存を目指します。

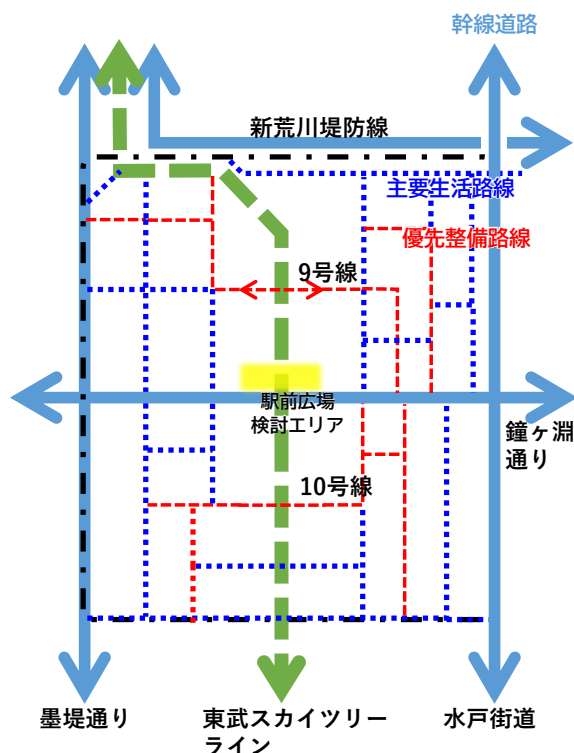


図 鐘ヶ淵地区交通ネットワークのイメージ

○駅周辺の交通錯綜の改善

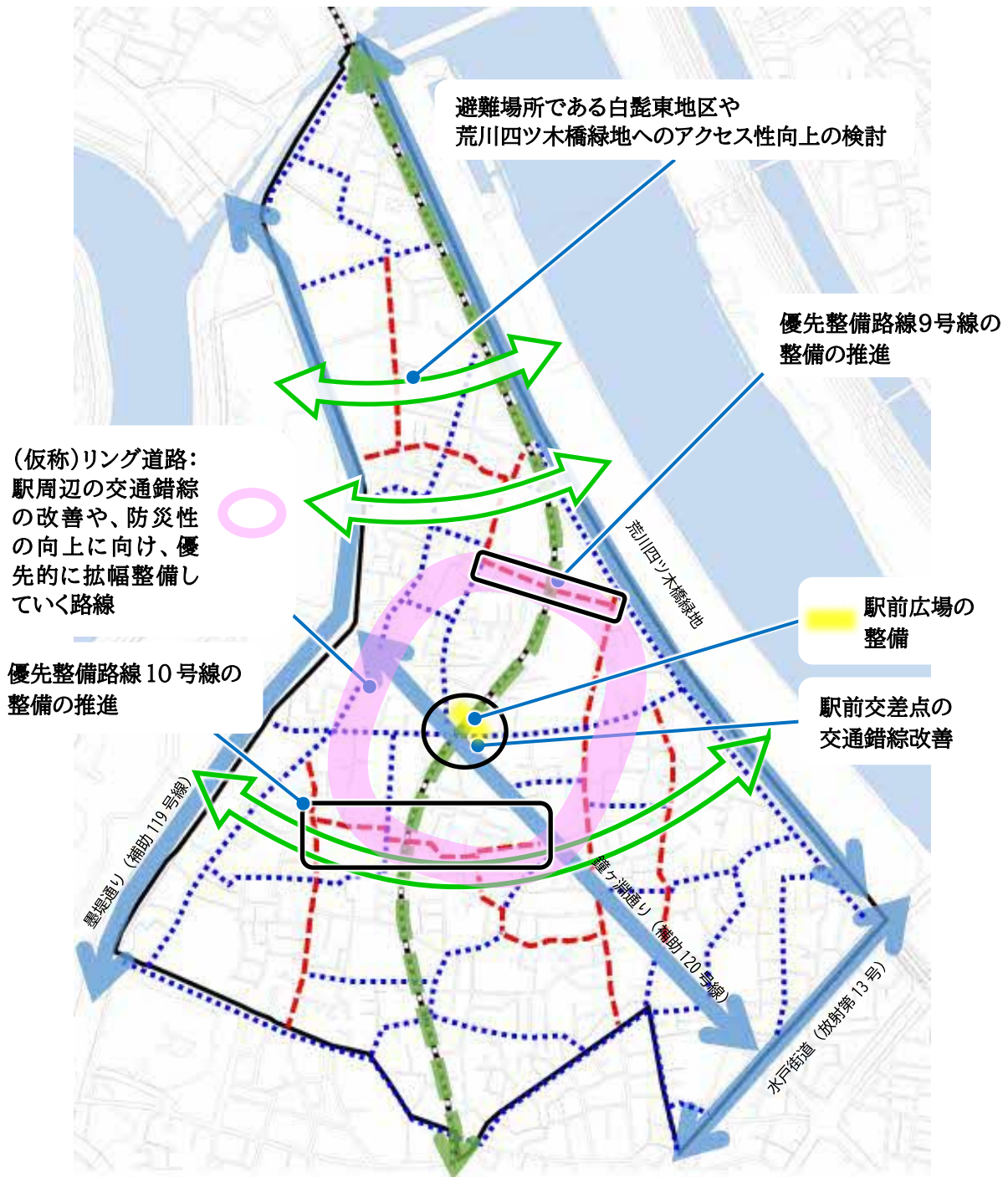
- 鐘ヶ淵駅前の駅前交差点への交通量の集中を抑え、歩行者・自転車・自動車交通の錯綜の改善を目指します。
- 駅前交差点の交通錯綜の改善や、防災性の向上に向け、駅を中心とした（仮称）リング道路整備を検討します。

○地区内南北交通軸の整備

- 行き止まりの解消や新規避難路としての活用を目的に、鉄道立体化を見据えた地区内を結ぶ南北の交通動線（地区内南北交通軸）の整備を検討します。
- 地区内南北交通軸は、地区内の回遊性を向上させるため、歩行者・自転車が安全に通行できる道路空間の確保を目指します。

○駅前広場の整備

- 駅前広場整備後に、バスやタクシー、自家用車等の乗り入れを行うことで、乗換利便性の向上を目指します。
- 鉄道立体化・鐘ヶ淵通り整備を見据え、交流や休憩ができ、緊急時には一時退避場所となる空間の確保を目指します。
- バリアフリーの視点を踏まえた人に優しい空間を目指します。



	幹線道路（墨堤通り、水戸街道、鐘ヶ淵通り、新荒川堤防線） 都市拠点間・区内拠点間を結ぶ交通の軸
	地区内南北交通軸 鉄道立体化を見据えた地区内南北交通の軸
	優先整備路線 6m以上の道路を確保する路線で、地区内の日常的な交通の主要動線
	主要生活道路など 6m程度の道路を確保する路線で、歩車共存の動線

図 鐘ヶ淵地区交通ネットワークの方針図

5. 本地区における駅前広場整備の方針

駅前広場の空間形成の方針

- 本地区の現状と見通しから、鐘ヶ淵駅の駅前広場整備において、駅前広場に必要な機能は下記のとおりです。

環境空間

「都市の広場機能」を果たすために必要な空間

交流機能

- ・憩い・集い・滞留空間の機能

- 人々が憩い、集い、語らいの中心となるスペースの創出を目指します。
- 休憩スペースや緑地スペースなどにベンチを配置するなど、ゆとりとうるおいに満ちた空間形成を目指します。

景観機能

- ・都市の顔としての景観を形成

- まちの顔としてふさわしい空間を目指し、駅前広場全体のデザインの統一性の確保やシンボル施設の設置を検討します。
- 広場を利用する人々が視覚的な圧迫感を受けないようにするため、広場の大きさは周辺建物との調和に配慮します。

サービス機能

- ・公共的サービスの提供
- ・各種情報の提供

- 区民や利用者の要望、駅前広場周辺の状況を踏まえたサービス機能の提供を検討します。
- サービス機能(トイレ・交番等)の提供においては、主要な歩行者動線の支障とならないよう配慮します。
- 鐘ヶ淵駅利用者にとって分かりやすい案内板の設置を検討します。

防災機能

- ・防災機能の拠点となる

- 密集市街地であるため、鐘ヶ淵地区では、地震などの際に駅前広場が一時的な避難場所、緊急活動の拠点となることが求められています。そのため、駅前広場は平坦で広い空間を確保するなど、配置と防災性の高い空間を確保し、災害時の一時的な避難場所としての利用を考慮したものを検討します。

交通空間

「交通結節機能」を果たすために必要な空間

交通結節機能

・各種交通を
結節・収容する

- 乗り換え利便性の向上や交通結節機能を強化するために、ロータリー(バス、タクシー、自家用車等の利用を想定)の設置を検討します。
- 十分な歩行空間の確保と円滑な歩行空間の確保を目指します。

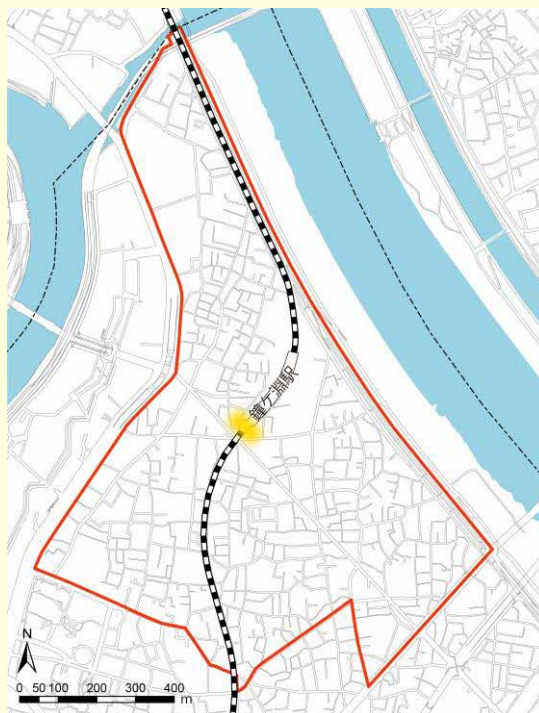


バリアフリーに配慮した空間

- 障害者や高齢者を含む利用者全体の利便性、安全性を検討し、わかりやすい動線計画、適切な案内誘導などで利用しやすく、上下移動が少なく段差の解消などが工夫された、ひとにやさしい空間を目指します。

駅前広場の検討エリア

- 乗り換えのために鐘ヶ淵通りを横断する必要がなく、駅からの利便性・歩行者の安全性を確保するため、鐘ヶ淵通りの北東側で、駅前広場の整備を検討します。



駅前広場の
検討エリア

図 駅前広場の検討エリア

『交通ネットワークの方向性』

令和〇年〇月

〇編集・発行 墨田区 都市計画部 密集市街地整備推進課

〒130-8640 墨田区吾妻橋一丁目23番20号

03-5608-1111 (代表)

<http://www.city.sumida.lg.jp/>